

2024.8.1.

NPOフォーラム・だより No.112



NPO法人安房文化遺産フォーラム（共同代表：愛沢伸雄、池田恵美子）

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX：0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <https://awa-ecom.jp/bunka-isan/>

会員・寄付募集中！年会費＝正会員 A:10,000 円（総会議決権あり）・準会員 B:2,000 円・法人 10,000 円
（ゆうちょ銀行口座：00260-1-97307 名義 NPO 法人安房文化遺産フォーラム）

◆ 知恵袋講座

NPO メンバーが講師となって楽しく学び語り合う茶話会です。

各日 13:30～16:00 会場：菜の花ホール

参加費：会員 200 円・非会員 500 円

▶ 第 84 回 知恵袋講座 8 月 17 日（土）

古畑玲子さん 「私も原爆被爆者」

9 歳から戦後の長崎で育った古畑さんは、福島原発事故以来、自身も被爆者だという自覚が強くなったといえます。復興を見つめ続けた体験から、毎年、安房反核フェスティバルを開催しています。

▶ 第 85 回 知恵袋講座 9 月 29 日（日）

鈴木政和さん 「千倉とアワビとハリウッド」

鈴木さんが生まれ育った南房総市千倉町千田は、明治期に米国モンレーで活躍したアワビ漁師移民と日本人初ハリウッド俳優の早川雪洲の故郷です。熱い思いで地域の歴史を調べて、語り継ぎ、日米交流を続けています。

◆ お楽しみ会～流しソーメンを食べよう

<年金者組合安房支部と共催>

8 月 4 日（日）11:00～ 小原家住宅庭園（館山市南条）

要予約 参加費 1,000 円

会場となる小原家住宅（国登録文化財）当主の村上吉夫・信子夫妻は NPO 会員。流しソーメンや BBQ を食べながら、楽しく語り合い、暑い夏を乗り切りましょう。準備のお手伝いは 10 時から。

◆ たてやま歴史建物探訪バスツアー

<安房高等女学校木造校舎を愛する会と共催>

8 月 19 日（月）9:30～16:30 集合 9:20 館山市役所 4 号館 P

要予約・参加費 1,000 円（弁当付）

館山市内の魅力的な文化遺産をめぐるツアー。

- ① 安房高校旧管理棟「無弦館」（県登録文化財）
- ★ ② 小原家住宅（国登録文化財）
- ★ ③ 小谷家住宅・青木繁「海の幸」記念館（館山市指定文化財・ちば文化資産）
- ④ 円光寺/波の伊八の欄間彫刻「龍と波」（ちば文化資産）
- ★ ⑤ 小高記念館 TRAYCLE Market & Coffee（国登録文化財）

★ 印の動画は YouTube から見られます ▼



千葉県教育委員会の方針により、今年度は、県指定文化財の

旧安房南高校 木造校舎の見学会（公開事業）は休止 となります。

巡視・清掃等も含め、県からの委託事業はありません。

千葉県文化財保存活用大綱には、<県が所有する文化財である「千葉県立安房南高等学校旧第一校舎」については公開・活用を推進します> と明記されています。文化財の適切な保全として外壁の塗装や必要な修繕をしたうえで、見学会が早期に再開されるよう県教育委員会に要望をしています。

*** よりよい保存活用と国指定文化財への格上げを希望し、署名運動** をスタートします。

オンライン署名と用紙の 2 種類あります。

詳しくは 4 面をご参照のうえ、ぜひ お力添えをお願いいたします。



※ 数年前から要望していた「館山市文化財保存活用地域計画作成委員会」が今年度より開催されます。当 NPO より池田恵美子共同代表が委員となり、協議に参加します。よりよい計画立案を期待しましょう。

南風原町は 1990 年に沖縄陸軍病院南風原壕郡を指定文化財としました。町文化財保護委員長の吉浜忍先生（元沖縄国際大学教授）は、かねてより「館山まるごと博物館」のまちづくりを高く評価して下さっており、保久盛陽学芸員も先進地視察で館山を来訪しています。壕のこれからを考える本シンポジウムでは、当 NPO の池田恵美子共同代表がパネリストとして、取り組み事例とともに、戦争における館山と沖縄とのつながりなどを報告しました。その一部を次ページに紹介します。レジュメをご希望の方は事務局までご一報下さい。



パネルディスカッションで意見を交わす登壇者たち＝14日、南風原町立中央公民館宴会ホール

現地入り平和学習に効果

今後に向け、病院壕に足を進んでもらう取り組みの必要性を指摘。軽便鉄道や南風原町にも敷設「地域の多様な歴史と戦争との関わりを返さしてほしい」と強調した。

国学院大教授で、元町文化財保護委員の池田恵美子さんは病院壕の調査研究に関わったことを語り、「20号壕の向かいにある別壕壕については65年に実測調査を実施した」とし「将来的

戦後80年へ

町は1990年に沖縄陸軍病院南風原壕郡を町の文化財に指定。第二次世界大戦の戦争遺跡の文化財指定は全国で初めてだった。指定後は保存・活用・整備に関する委員会を設け、2008年に加野城を整備し09年に一般公開した。

元沖縄国際大教授で、町文化財保護委員長の吉浜忍さんは、1989年に開館した南風原文化センターの常設展示で病院壕を再現したことで、文化財指定の意義を説明し「センターは学びの場、壕は体験の場になつていった」と軌跡を語った。

南風原町の沖縄陸軍病院南風原壕のこれらから、戦争遺跡の活用可能性を考へる「壕シンポジウム」（主催・町自治体センター）が14日、町内で開かれた。病院壕の保存・活用に至る歩みを振り返った後、別の地域で取り組まれている事例の報告があった。

（社会部・佐藤悠）

南風原病院壕 活用探る

関係者 地域と関わり議論

に整備するとなれば、鉄のフレームを入れて崩壊しないようにすることが必要」と述べた。

敷設については「まずは現地に入ることが重要で、入れなくなったとしても残すことが重要だと強調し、戦後などを活用することで「三重三重の平和学習の効果がある」と呼びかけた。

NPO 共同代表の池田恵美子さんは「南風原山荘で、自然・歴史文化遺産をまごめて「館山まるごと博物館」と呼び、市民がガイドや保全整備を行っていることを紹介。宮古島市教育委員会職員の前田久美子さんは宮古島での戦争遺跡や平和学習の取り組みを解説した。

パネルディスカッションには南風原平和ガイドの会の井出佳代子会長も登壇。同会は南風原文化センター学芸員の保久盛陽さんが務めた。

沖縄タイムス 2024.7.17.付



NHK 沖縄でも紹介されました。
 ニュース動画では 5:45～
 池田恵美子さんが登場します。
<https://x.gd/0sB0r>

- ◇ 沖縄陸軍病院南風原壕は、せまく、暗く、湿気が多い壕内に 2 段ベッドが据え付けられ、軍医やひめゆり学徒隊らが傷病兵の手当てや手術をしていたという。公開されている 20 号壕は約 70m の長さだが、常時 2 名のガイドスタッフが待機し、来訪者を案内している。
- ◇ 南風原文化センターは館内の資料コーナーには、病院壕を再現したレプリカが設けられ、壕内で出土した遺留品をはじめ、戦後の復興や海外への移民など、多岐にわたる資料の展示がとても分かりやすく大変充実している。その様子は南風原町の公式 YouTube から見る事ができる。

<https://www.youtube.com/watch?v=QEYXpSjy3wU>



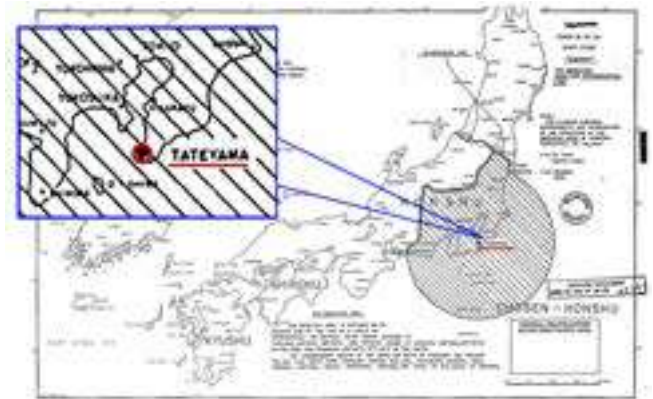
- ◇ 旧海軍司令部壕（豊見城市）は、沖縄戦に備えて約 3,000 人の将兵が昼夜 5 ヶ月かけて地下 20m に全長 450m を掘った。現在は（財）沖縄コンベンション ビューローが海軍壕公園として運営。地下 1 階の資料館から壕入口が続き、さらに深く 300m の見学コースが公開されていて、音声ガイドもある。
- ◇ 大田實海軍少将が、激闘に献身的協力をした県民を憂慮し「沖縄県民斯克戦ヘリ … 後世特別ノ御高配ヲ」と電文を打って自決した司令官室には、壁に書き残した文字や自決した手榴弾痕跡なども残っている。大田は千葉県人であり、生家の長生郡長柄町には顕彰碑があるという。



▶ 安房の本土決戦体制と『沖縄作戦ノ教訓』

アメリカの日本本土侵攻計画「コロネット作戦」（右図）は、関東一円をターゲットとし、その中心は館山を指している。沖縄県と千葉県を同じ縮尺倍率で並べると南北の距離がほぼ同じである。沖縄南部戦線には約 11 万、房総南部には約 7 万の兵が送り込まれた。本土決戦に備えて、人間ロケット「桜花」特攻艇「震洋」特殊潜航艇「海龍」「蛟竜」人間魚雷「回天」などの特攻基地も作られた。

沖縄戦終結から 1 週間後の 6 月 29 日、大本営陸軍部は『沖縄作戦ノ教訓』という極秘資料を作成した。蛸壺や肉攻などの水際作戦まで丁寧に記載してある。まさに教訓は本土決戦体制に生かされ、安房にも多くの陣地や偽陣地などが次々と作られたのである。



◆ 当面のツアーガイドスケジュール

～ サポートスタッフの同行も歓迎！

- 7/31 (水) ドイツ人研究者 1 名
- 8/8 (木) 9:00～15:00 専修大学環境地理学科 1 名
- 8/21 (水) 10:00～16:00 社会科教育研究会 10 名
- 9/10-11 (火水) 大東文化大学 22 名
- 10/5-6 (土日) 明星大学教育学部
- 10/17 (木) 松戸人権擁護委員協議会 40 名
- 10/24 (木) 八千代らいてうの会

※ 赤山地下壕は補修・点検のためまだ休壕が続いていますが、多様な文化遺産をガイドします。

* 第 20 回 安房・平和のための美術展

8月17日 (土) ～ 25日 (日)
とみうら枇杷倶楽部ギャラリー

* '24 安房反核フェスティバル

9月7日 (土) 9:00～16:00
館山市コミュニティセンター

* ハングル「四面石塔」400年記念事業

11月9日 (土) ⇒ 詳細は次号にて告知
AM: 見学会・奉納コンサート @大巖院
PM: シンポジウム @南総文化ホール

千葉県知事 熊谷俊人 様
千葉県教育長 富塚昌子 様

NPO法人安房文化遺産フォーラム 代表 愛沢伸雄
安房高等女学校木造校舎を愛する会 会長 片方義明

安房南高等学校旧第一校舎（千葉県指定有形文化財）の 保存活用および国指定文化財への格上げの要望書

関東大震災の教訓をもとに、千葉県立安房高等女学校は技術の粋を集め、和洋折衷のすぐれた意匠を施し、1930年に建てられました。左右対称に大きく羽を広げた白鳥のように美しい姿は、女子教育の殿堂にふさわしいものでした。戦後は千葉県立安房南高等学校となり、国内外で活躍する卒業生を多く輩出しています。鉄筋RC造に改築されていった時代に、同校の旧第一校舎（以下、木造校舎と略）は保存され、1995年に千葉県指定有形文化財となりました。

ところが、2008年の学校統合により閉校となり、日常的に使用されなくなりました。少子高齢化が進む現代社会において、木造校舎は心の拠り所であり、地域住民の誇りを醸成し得る文化遺産です。安房地域の観光においても、重要景観建造物として魅力的なランドマークといえます。

そこでNPO法人安房文化遺産フォーラムが事務局を担い、2017年に「安房高等女学校木造校舎を愛する会」を発足しました。以来、千葉県教育委員会が主催する公開事業の企画運営をはじめ、館内の巡視や清掃、草刈りなどの環境整備に協力してきました。しかし閉校から16年を経た木造校舎は、塗装も剥げ、損傷が進んでいることを大変憂慮しています。

また、学校には明治期以降の貴重な教育資料も多く残されています。教員養成など、先駆的な女子教育が果たされていたことや、混乱した戦時下や占領軍の直接軍政下における教育なども明らかになっています。教育実践の歴史的価値は高く、学校博物館としての活用も期待されます。

『千葉県文化財保存活用大綱』には、「県は、市町村と連携し、県として重要と認められる文化財については、県指定文化財に指定するよう取り組みます。また、国による国指定等への取組について、県及び市町村は、国と連携して取り組みます。市町村が国指定等を目指す場合においては、県は、国との連絡調整を行います」と明記されています。市・県・国と地域住民が一丸となって、文化遺産を未来に継承するために、国指定文化財への格上げを要望いたします。

氏名	住所	※「同上」や「リ」は無効となる場合があります。
	都道 府県	市区 郡
	都道 府県	市区 郡
	都道 府県	市区 郡
	都道 府県	市区 郡
	都道 府県	市区 郡

◎ 署名簿の送り先：NPO法人安房文化遺産フォーラム FAX:0470-22-8271
〒294-0045 千葉県館山市北条1721-1 メール: awabunka@awa.or.jp

◎ インターネット署名もあります。 <https://www.change.org/awaminami-kousya> ▶



◀ 木造校舎の紹介動画やパンフレットはこちらから見られます。
<https://awa-ecom.jp/aisurukai/section/woodenschool/>

